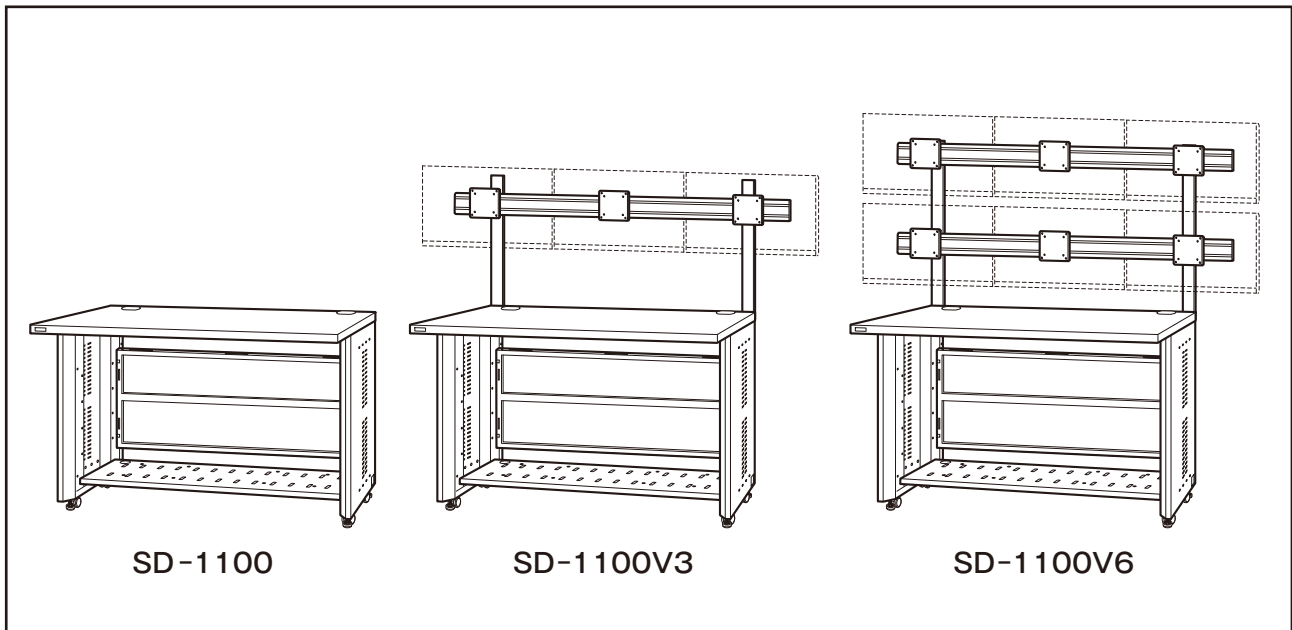


SDシリーズ デスク

SD-800/1100/1400 シリーズ



SD-1100

SD-1100V3

SD-1100V6

当製品を正しくご使用いただくために、必ず組立説明書をお読みください。

また、この組立説明書は大切に保管してください。

なお、組立不良、取扱不備による事故、損傷については、当社は責任を負いませんのでご了承ください。

安全上のご注意

この組立説明書では安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や財産の損害を未然に防止するため、右記のような表示をおこなっておりますので、内容をよく理解したうえで、本組立説明書をお読みください。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示します。

組立前に

- パーツリストとパーツを照合し、不足のパーツがないか確認してください。
- 組み立ての際は、プラスドライバーをご用意ください。
また、組立作業の間はダンボール箱を平らに広げ、床に敷いてご使用ください。
- それぞれのパーツは、正しい取付箇所、取付方向があります。
「組立のしかた」をよくお読みになり、適切な箇所に適切な方法で組み込んでください。

仕様

型名	積載質量 [kg]		ディスプレイ積載質量 [kg]		本体外形最大寸法 [W×D×H (mm)]	本体質量 [kg]
	天板	棚板	UVK-24 (1個)	総積載質量		
SD-800	60	30	—	—	800×800×720	37.7
SD-1100	60	30	—	—	1100×800×720	45.2
SD-1400	60	30	—	—	1400×800×720	52.9
SD-800V2	60	30	12	24	1096×840×1453	46.7
SD-1100V2	60	30	12	24	1100×840×1453	54.2
SD-1400V2	60	30	12	24	1400×840×1453	62.6
SD-1100V3	60	30	12	36	1396×840×1453	56.0
SD-1400V3	60	30	12	36	1400×840×1453	63.7
SD-1100V4	60	30	12	40	1100×840×1453	59.2
SD-1400V4	60	30	12	40	1400×840×1453	68.3
SD-1100V6	60	30	12	40	1396×840×1453	62.8
SD-1400V6	60	30	12	40	1400×840×1453	70.5

※天板・棚板・ディスプレイ及び追加オプションを含め合計積載質量は～90kgまでとなります。

製品構成

型名	ア		イ		ウ		エ	
	デスク本体		フレーム支柱		アルミフレーム		ディスプレイ取付金具	
	パーツ型名	数	パーツ型名	数	パーツ型名	数	パーツ型名	数
SD-800	SD-800	1	—	—	—	—	—	—
SD-1100	SD-1100	1	—	—	—	—	—	—
SD-1400	SD-1400	1	—	—	—	—	—	—
SD-800V2	SD-800	1	SD-S1	1	SD-AB11	1	UVK-24	2
SD-1100V2	SD-1100	1	SD-S1	1	SD-AB11	1	UVK-24	2
SD-1400V2	SD-1400	1	SD-S1	1	SD-AB14	1	UVK-24	2
SD-1100V3	SD-1100	1	SD-S1	1	SD-AB14	1	UVK-24	3
SD-1400V3	SD-1400	1	SD-S1	1	SD-AB14	1	UVK-24	3
SD-1100V4	SD-1100	1	SD-S1	1	SD-AB11	2	UVK-24	4
SD-1400V4	SD-1400	1	SD-S1	1	SD-AB14	2	UVK-24	4
SD-1100V6	SD-1100	1	SD-S1	1	SD-AB14	2	UVK-24	6
SD-1400V6	SD-1400	1	SD-S1	1	SD-AB14	2	UVK-24	6

アルミ長さ { SD-AB11 : 1090mm
SD-AB14 : 1390mm

⚠ 警告

- 不完全な組み立ては、デスクや載せる機器の破損等の原因となります。それぞれのパーツのボルト類は完全に締め付けてください。
- 凹凸のある所や傾斜のある所等、不安定な場所にデスクを置かないでください。載せる機器の破損やけがの原因となります。
- 移動の際はディスプレイ・機器等を保持しながら、必ず2人以上でおこなってください。また、段差のある床での移動はキャスターの破損やデスクの転倒の原因となりますので、おこなわないでください。オプションの上部天板を持つての移動はおこなわないでください。また、子供によるデスクの移動は絶対におこなわないでください。
- ディスプレイにつかまったり、ぶらさがったりしないでください。また、デスクの上に乗らないでください。デスクやディスプレイの破損の原因となります。
- コンセントは消費電力1500W以内でご使用ください。容量を超えて使用すると焼損のおそれがあり、火災の原因となります。(定格: AC125V 15A)

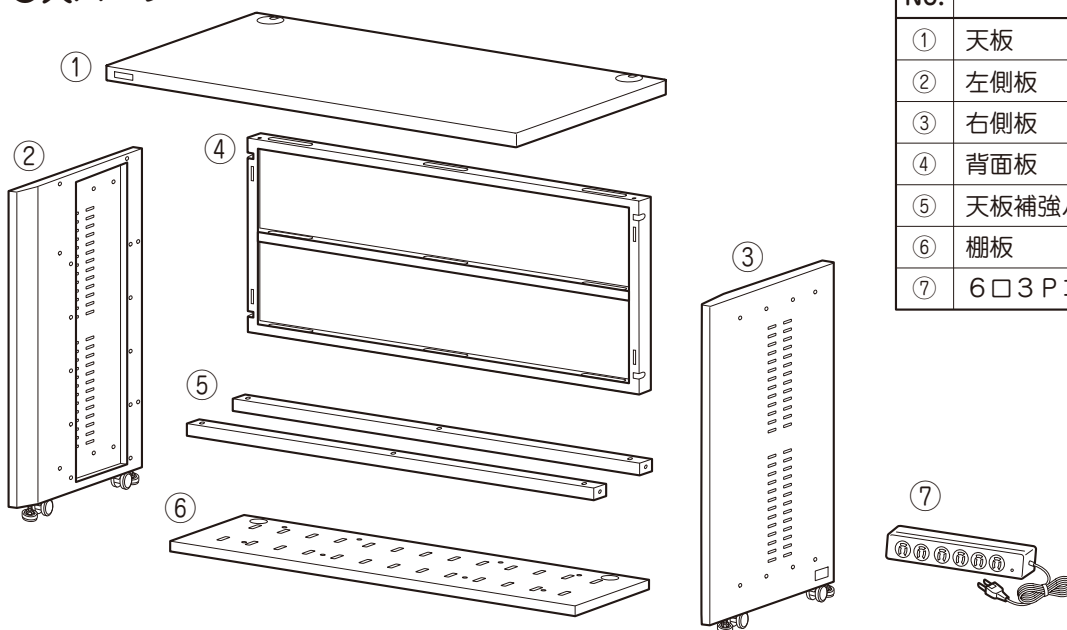
⚠ 注意

- ディスプレイの設置条件等については、必ずディスプレイの取扱説明書に従ってください。
- デスク本体にディスプレイを取り付ける際は、必ず2人以上でおこない、ディスプレイを保持した状態で、すべてのボルトを締め付けてください。ボルトを締め付ける前にディスプレイから手を離すと、ディスプレイとデスク本体の隙間に手を挟んだり、ディスプレイを傷める原因となります。
- 載せる機器は仕様欄の総積載質量を超えないようにしてください。
- 当製品は、必ず水平な床に設置し、キャスターのストッパーをロックしてください。
- アジャスターを必ず床に設置した状態でご使用ください。

パーツリスト

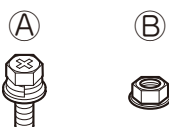
ア デスク本体〔SD-800/1100/1400〕

● 大パーツ



No.	大パーツ名	数
①	天板	1
②	左側板	1
③	右側板	1
④	背面板	1
⑤	天板補強バー	2
⑥	棚板	1
⑦	6口3Pコンセント	1

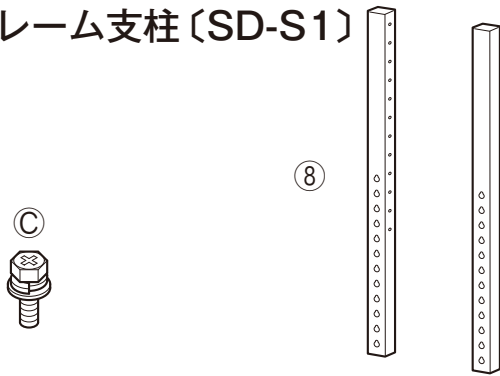
● 小パーツ



No.	小パーツ名	数
A	組立ボルト(M6×16)	26
B	M6用フランジナット	4

パーツリスト

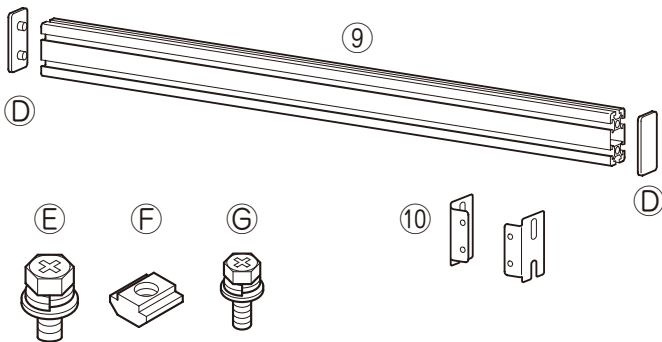
イ フレーム支柱〔SD-S1〕



No.	大パーツ名	数
⑧	フレーム支柱(左右)	各1

No.	小パーツ名	数
③	取付ボルト(M6×16)	4

ウ アルミフレーム〔SD-AB11/14〕

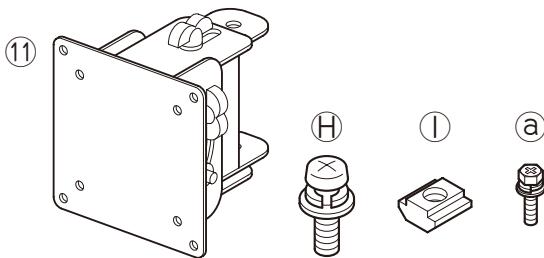


No.	大パーツ名	数
⑨	アルミフレーム (SD-AB11:1090mm/SD-AB14:1390mm)	1
⑩	フレーム固定金具(左右)	各1

No.	小パーツ名	数
④	アルミフレームキャップ	2
⑤	取付ボルト(M8×15)	4
⑥	スライドナット	4
⑦	組立ボルト(M6×16)	4

※小パーツ⑦以外は梱包状態で全て組み付けてあります。

エ ディスプレイ取付金具〔UVK-24〕

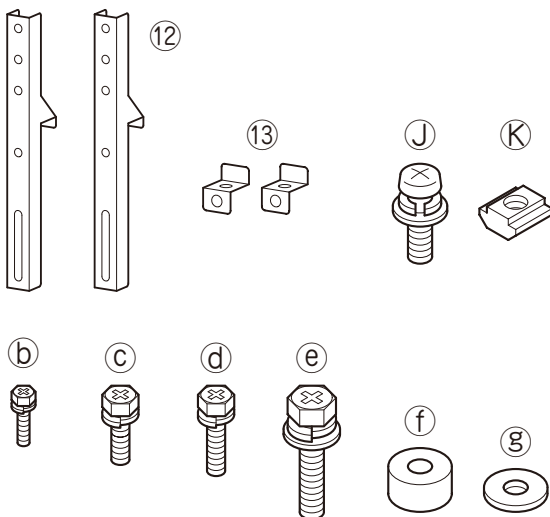


No.	大パーツ名	数
⑪	VESA金具	1

No.	小パーツ名	数
⑧	取付ボルト(M8×18)	2
⑨	スライドナット	2

No.	ディスプレイ取付ボルトセット	数
⑩	ディスプレイ取付ボルト(M4×16)	4

ディスプレイ取付金具〔UFK-52〕



No.	大パーツ名	数
⑫	FPD取付金具	2
⑬	下部固定金具	2

No.	小パーツ名	数
⑭	取付ボルト(M8×18)	6
⑮	スライドナット	4

No.	ディスプレイ取付ボルトセット	数
⑯	ディスプレイ取付ボルト(M4×16)	4
⑰	ディスプレイ取付ボルト(M6×14)	4
⑱	ディスプレイ取付ボルト(M6×20)	6
⑲	ディスプレイ取付ボルト(M8×40)	4
⑳	スペーサー (t=11mm M8×40ボルト用)	4
㉑	平ワッシャー(M4・6用)	6

組立のしかた (組立の際は必ず2人以上でおこなってください。)

ア デスク本体〔SD-800/1100/1400〕

～組立の前に～

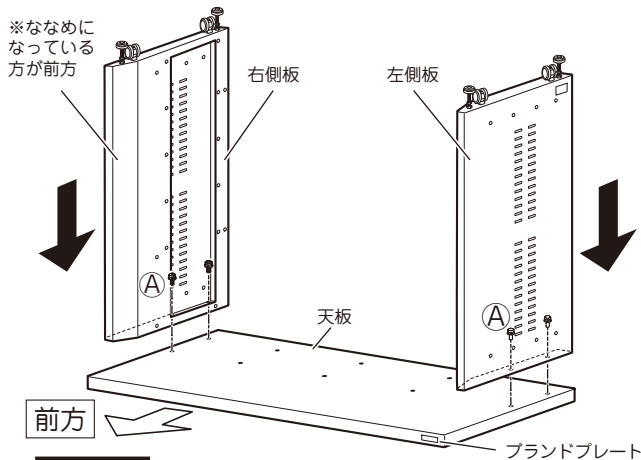
本製品は、キャスターを取り外してアジャスターのみでご使用が可能です。アジャスターのみで設置する際は、事前にキャスターをスパナ等で取り外してください。

⚠注意

キャスターと併用する場合もアジャスターは取り外さず、必ず床面に設置した状態でご使用ください。

1 左右側板の組立

- ①天板が傷つかないようにダンボールなどを下に敷き、裏面を上にして天板を置きます。
- ②前後方向に注意し、左右側板をボルトA各2本で**仮止め**します。(この時点ではボルトを緩めにしておいてください。)



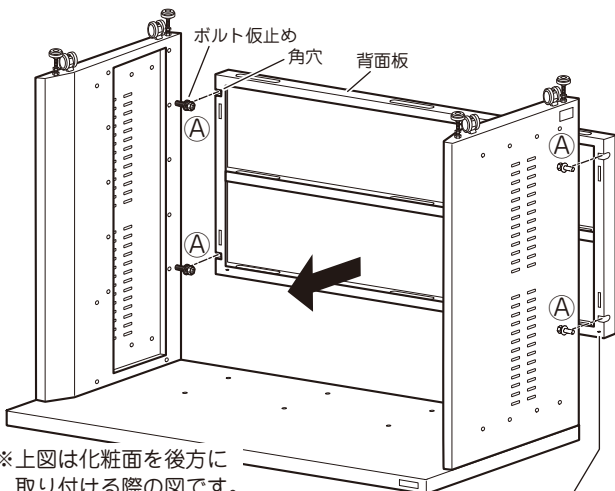
⚠注意

次項の背面板の組立が終わるまで、側板を手で保持しながら作業をおこなってください。

2 背面板の組立

※背面板は化粧面を前後どちらにしても取り付けることが可能です。**事前にどちらの取り付け方にするか確認し、組み立てをおこなってください。オプションの背面カバーをご使用になる場合は、化粧面を前方にして取り付けてください。**

左右側板後方の取付穴にボルトA各2本を**仮止め**し、背面板の上下方向に注意しながら、そのボルトに背面板の角穴をはめ込んでください。(脱落防止の為ボルトを軽く固定しておいてください。)



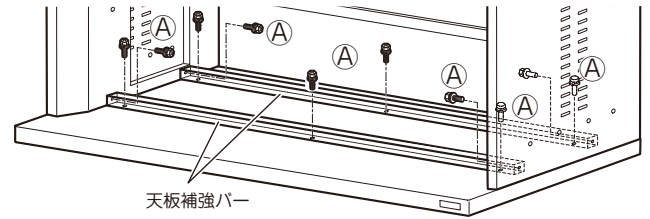
※上図は化粧面を後方に
取り付ける際の図です。

**化粧面を前方にする際は、背面板をデスクの
内側からはめ込んで取り付けてください。**

※背面板のナットが
付いている面を
下にして取り付け

3 天板補強バーの組立

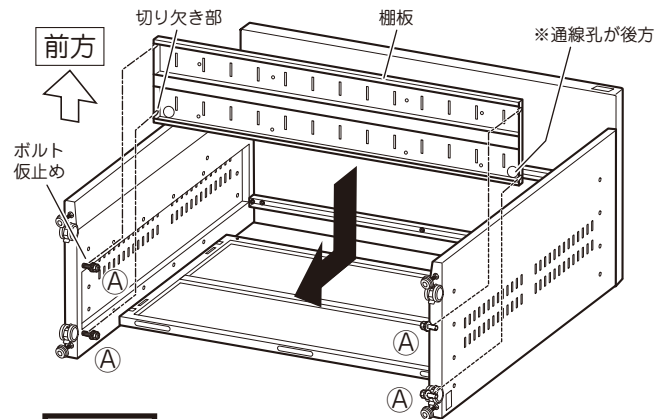
天板の裏側に天板補強バー2本をボルトA各3本(SD-800のみ各2本)、左右側板に各2本でしっかりと固定してください。



4 棚板の組立

※棚板は取付の高さ位置が選べますので、最適な位置に取り付けてください。

- ①デスク本体を下図のように慎重に置き変え、左右側板にボルトA各2本を仮止めし、棚板の前後方向に注意しながら、棚板の切り欠き部を差し込んでボルトを固定してください。
- ②棚板の組み立て後、1・2で仮止めしていた全てのボルトをしっかりと締め付けて、デスク本体を起こしてください。



⚠注意

デスク本体を置き変える際は、背面板が脱落しないように手で保持しながらおこなってください。

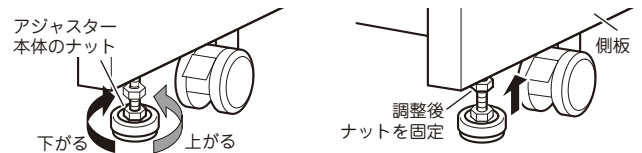
コンセントの取付

デスク本体内側の側板・背面板・棚板などスチール部分にマグネットを取り付けることができます。安全な位置を確認して設置してください。

アジャスターについて

アジャスターでレベル調整する際は、アジャスター本体のナット部分をスパナ等で回して調整してください。

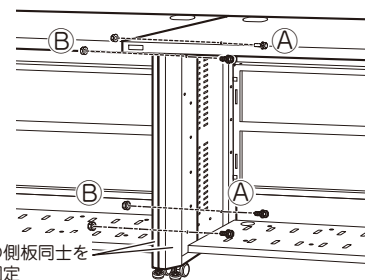
調整後、アジャスターネジ部のナットを必ず側板の底面に上げてしっかりと固定してください。



複数デスクの 連結方法について

デスクの連結は、各デスクの左右側板同士をピッタリと合わせ、取付穴に付属のボルトAとナットB各4個で連結してください。

各デスクの側板同士を
合わせて固定



組立のしかた (組立の際は必ず2人以上でおこなってください。)

イ フレーム支柱〔SD-S1〕

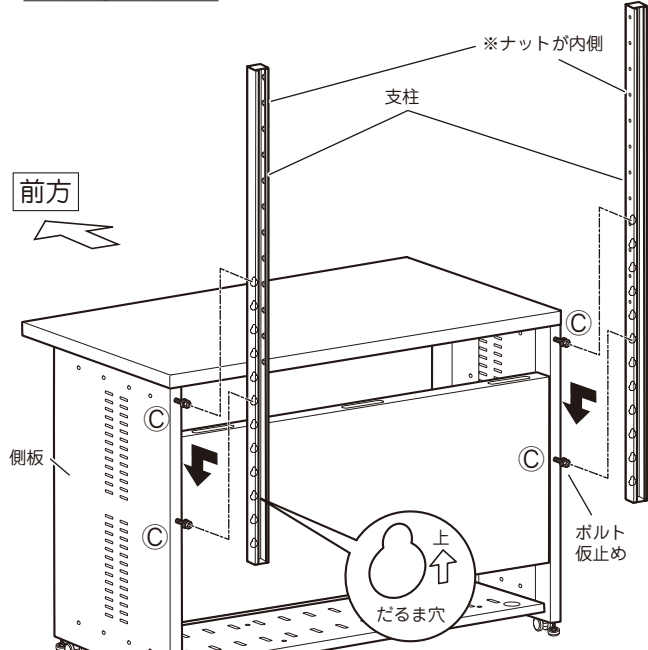
支柱は高さ位置が50mmピッチで選べますので、最適な位置で取り付けをおこなってください。

最下段時… 床～支柱上端：1146mm

最上段時… 床～支柱上端：1446mm

デスク左右側板の背面取付穴にボルト③各2本を仮止めし、支柱のたるま穴をボルトに引っ掛けて固定してください。

※支柱には左右方向がありますので、支柱側面のナットがそれぞれ内側を向くように取り付けて下さい。



ウ アルミフレーム〔SD-AB11/14〕

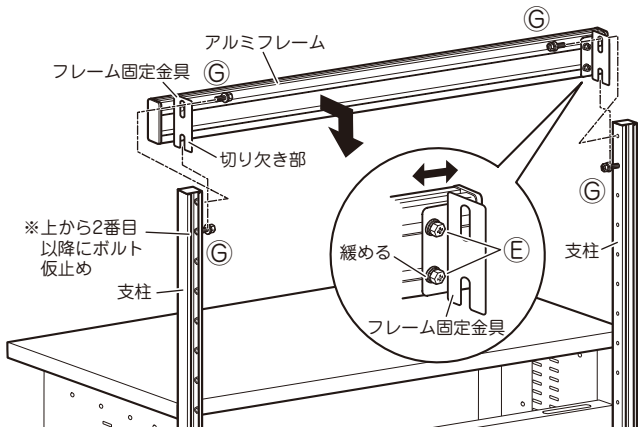
①アルミフレームに組み付けられているフレーム固定金具のボルト⑤左右各2本を緩めてください。

②イでデスクに組み付けた支柱内側の上から2番目以降の取付穴にボルト⑥各1本を仮止めしてください。

※ボルトの仮止め位置によって高さを60mmピッチで変えられますので、最適な位置に仮止めしてください。

③アルミフレームの固定金具を支柱の幅に合うように左右にスライドさせて、②で仮止めしたボルトに固定金具の切り欠き部を引っ掛け、上部取付穴にもボルト⑥各1本を差し込んで上下ともボルトをしっかりと固定してください。

④①で緩めた固定金具のボルト⑤を全て締め付けてください。



注意

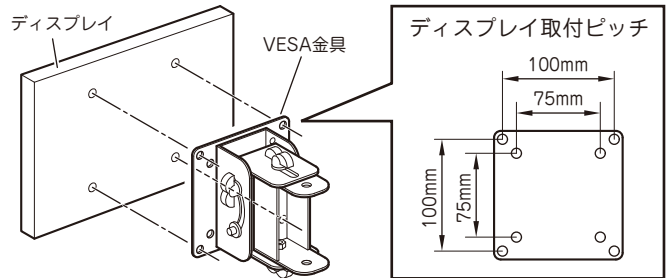
全てのボルトを完全に締め付けて固定するまでアルミフレームをしっかりと支えてください。

エ VESA金具〔UVK-24〕

①ディスプレイ背面の取付穴に、VESA金具を合わせ、適切なボルトで締め付けてください。縦設置も可能です。(75×75mm / 100×100mmピッチに対応しています。)

注意

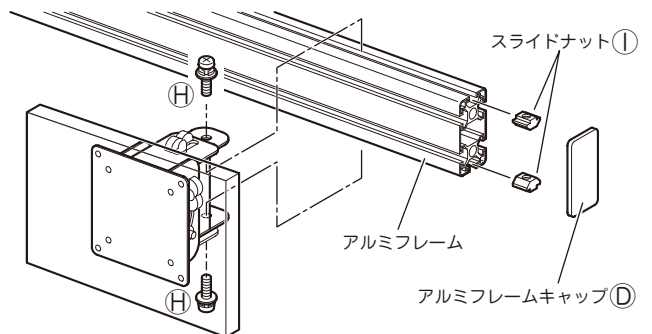
ディスプレイの仕様を十分に確認した上で、**適切であれば付属のボルト⑧**を使用してください。仕様に合わない場合は無理に使用すると、ディスプレイ破損の原因になります。



②アルミフレームキャップ⑩を外し、スライドナット①2個をアルミフレームの上下の溝に入れてディスプレイを取り付ける位置までスライドさせます。

③VESA金具をアルミフレームに組み込み、VESA金具の穴位置とスライドナット①を合わせてボルト⑨2本でしっかりと締め付けてください。

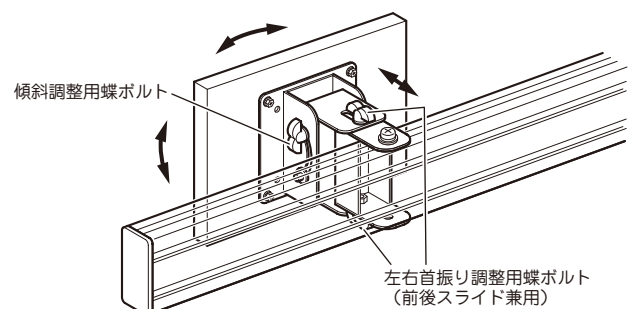
④アルミフレームキャップ⑩を元の位置に取り付けます。



⑤ディスプレイを傾斜させる場合はVESA金具側面の蝶ボルトを、左右首振り調整をする場合はVESA金具上下の蝶ボルトを緩め、調整後に再度しっかりと締め付けて固定してください。また、上下の蝶ボルトを緩めると長穴に沿ってディスプレイを前後にスライド調整が可能です。

注意

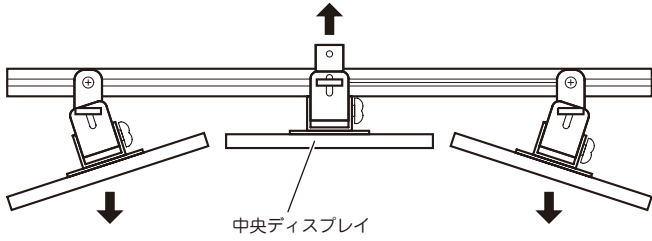
傾斜調整・左右首振り調整・前後スライド調整をする際は、ディスプレイをしっかり支えながらおこない、調整中にディスプレイをぶつけないように十分注意してください。



組立のしかた (組立の際は必ず2人以上でおこなってください。)

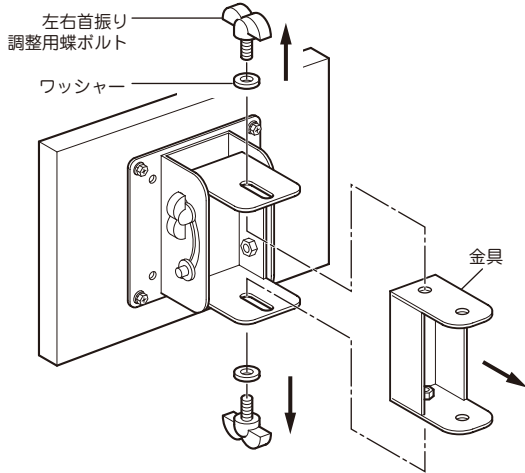
● 3面・6面設置 (ディスプレイ面をアーチ形にする場合)

中央のディスプレイを奥に設置し、左右のディスプレイを手前に設置・首振りをすることで、ディスプレイ面をアーチ型に設置することができます。

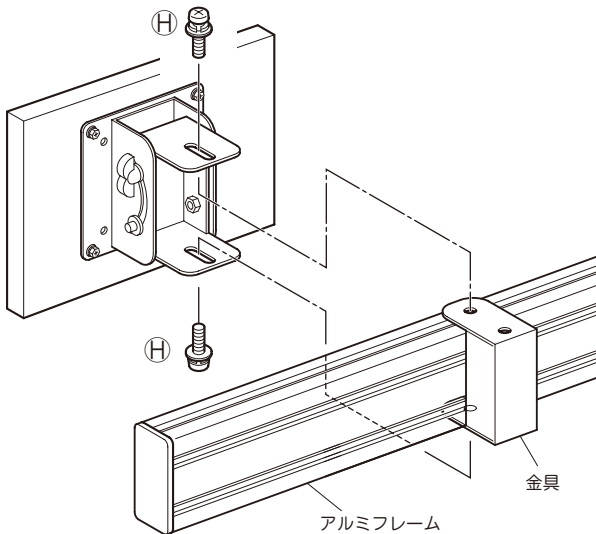


[中央ディスプレイの設置]

① 左右首振り調整用蝶ボルトを外し、金具を取り外します。



② 取り外した金具をアルミフレームの背面から挟み込み、ディスプレイを取り付けたVESA金具を前面から挟み込み、前後の金具の穴位置とスライドナット①をあわせて上下からボルト②2本でしっかりと固定します。この時、VESA金具を長穴に沿ってアルミフレームに押しつけるようにして固定してください。



[左右ディスプレイの設置]

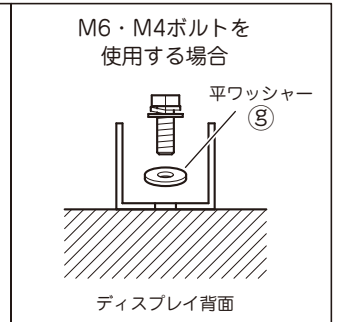
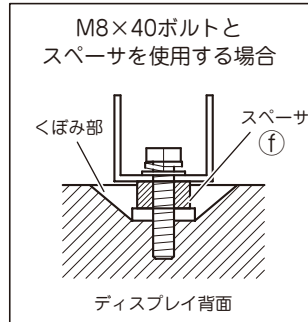
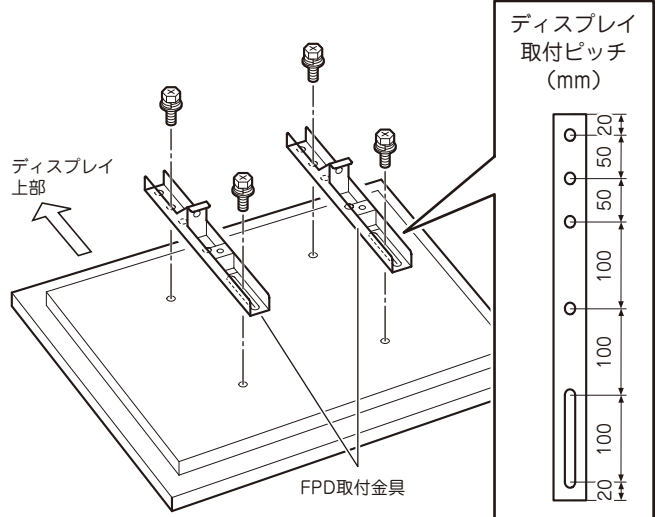
VESA金具上下の蝶ボルトを緩めて長穴に沿ってディスプレイを手前にスライドさせた後、中央のディスプレイに合わせて左右首振り調整をし、蝶ボルトを締め付けて固定してください。

Ⅰ FPD取付金具〔UFK-52〕

① ディスプレイ背面の取付穴にFPD取付金具を合わせ、適切なボルトで締め付けてください。

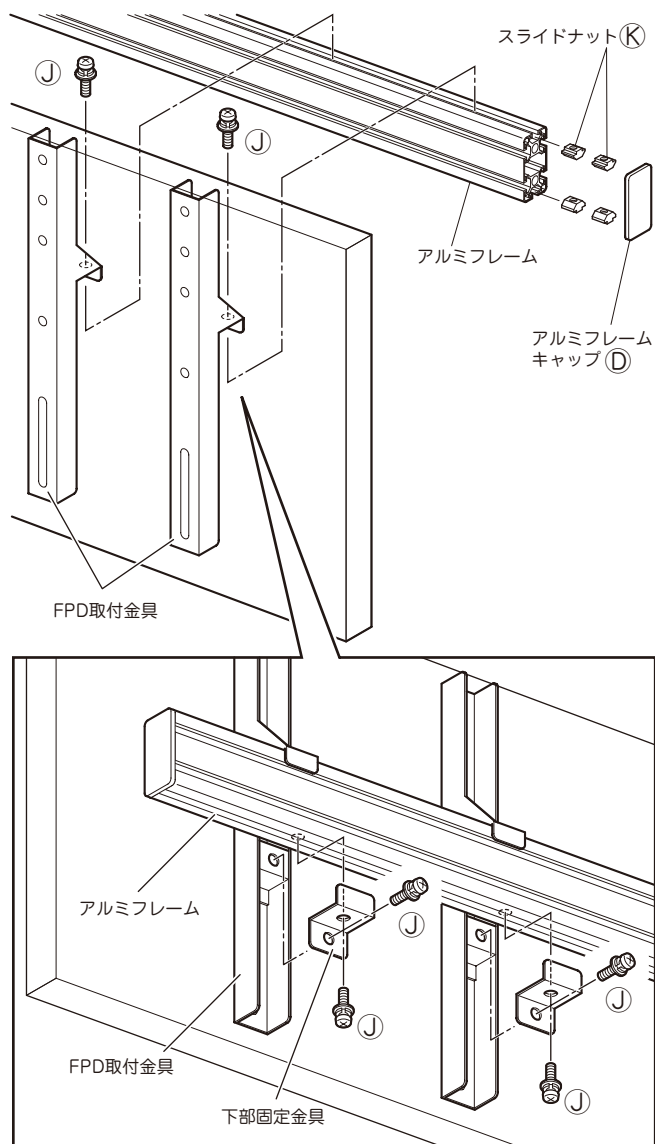
⚠注意

ディスプレイの仕様を十分に確認した上で、**適切であれば付属のディスプレイ取付ボルト⑥~⑧**を使用してください。仕様に合わない場合は無理に使用すると、ディスプレイ破損の原因になります。



組立のしかた（組立の際は必ず2人以上でおこなってください。）

- ②アルミフレームキャップ⑩を外し、スライドナット⑧をアルミフレームの上下の溝に2個ずつ入れてディスプレイを取り付ける位置までスライドさせます。
- ③ディスプレイに取り付けたFPD取付金具をアルミフレームの上から引っ掛け、FPD取付金具の穴位置とアルミフレーム上側に入れたスライドナット⑧を合わせてボルト⑨でしっかりと締め付けます。
- ④FPD取付金具の下側に下部固定金具をボルト⑨で取り付けます。次に下部固定金具とアルミフレーム下側に入れたスライドナット⑧を合わせて、ボルト⑨でしっかりと締め付けます。
- ⑤アルミフレームキャップ⑩を元の位置に取り付けます。



SDシリーズデスク用オプションの取り付けについては、各オプションに同梱されている組立説明書に従って適切に取り付けてください。

*仕様・外観は予告なく変更することがございますのでご了承ください。

販売店名

株式会社 共栄商事

●お問い合わせは各営業所まで.....

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-17-7	☎03-3719-2411 FAX 03-3719-2882
〒003-0806 札幌市白石区菊水6条2-6-30 2F	☎011-824-2811 FAX 011-824-2812
〒980-0011 仙台市青葉区上杉4-5-22	☎022-263-0963 FAX 022-263-0910
〒464-0858 名古屋市千種区千種3-30-20柴田ビル	☎052-732-7441 FAX 052-732-7477
〒540-0021 大阪市中央区大手通2-2-13 2F	☎06-6946-1421 FAX 06-6946-1435
〒730-0051 広島市中区大手町3-9-13松永ビル	☎082-541-5321 FAX 082-541-5325
〒812-0015 福岡市博多区山王1-8-35岩瀬ビル	☎092-472-3865 FAX 092-472-3866

●本社

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南 1-17-7